

# 映画制作の環境つくるう

## 市民団体「映画塾」 総会で承認



にいがた  
映画塾通信

創刊号

編集・発行

にいがた映画塾

〒950-0086

新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル1F

電話 ファクス 025-2435653  
(in/out内)



約40人が集まり、市民団体としての映画塾設立を決めた総会 = 10月25日、新潟市万代市民会館

代表 矢部 事務局長 五十嵐

### 劇場公開作品も視野

「にいがた映画塾」は十一月一日、市民団体として新たなスタートを切った。十月二十五日に開かれた設立総会では、実行委員会形式から団体として活動することを会員から正式に承認され、代表・矢部孝男、事務局長に五十嵐政人ら役員が選出された。矢部代表は「自分たちがやりたいことのために、この塾をどんどん利用してほしい」とあいさつ。会員は、これまでの講座卒業生とスタッフ、講師、新規会員で構成。発足時の会員数は約百五十人を突破した。

新潟市の万代市民会館で開かれた総会には約四十人が出席。第三期講師で映画編集技師の鶴飼邦彦氏も東京から駆け付けてくれた。山形で映画口ケの仕事のため到着が遅れた矢部に代わり、設立準備委員会の星龍雄が「映画『白痴』が終わったから映画塾も解体では意味がない。せっかく映画をつくるうという意欲、つくれる場、機材、人のつながりが生まれたのだから、こうした環境をさらに大きくしたい」と、映画塾

副代表は笹崎、星  
総会では規約に基づき九九年役員七人を選んだ。名前は以下の通り。  
代表 矢部孝男

副代表 笹崎隆 星龍雄  
事務局長 五十嵐政人  
会計 長谷川幸枝  
会計監査 福島春夫  
堀浩

を実行委員会形式から団体に衣替えする趣旨を説明した。  
続いて議長に種橋美樹さんと、高橋美香さんを選出。準備委側から規約案が提案され、拍手で承認された。「講座・にいがた映画塾の開催」などの七つの事業計画案、六十二万五千円の九九年予算(九八年十一月九日末)も、ともに全会一致で成立した。

### 第3期作品を初上映

設立総会では、七月二十六日終了した「第三期にいがた映画塾」の本撮影作品三本も初めてお披露目された。作品完成で、第三期講座はすべての予定を終了した。  
第三期作品は「Last Love Letter」(真保蔵監督)、「みつ」(田巻源太監督)、「STEP」(南由佳子監督)の三本。第三期最終日のラッシュ上

到着した矢部代表はあいさつで、「にいがた映画塾」を利用してもらう中から、これまでの劇場用映画とまったく違う形、新しい映画が必ず出てくると信じている」と、将来の劇場公開用映画制作をにらんだ発言があった。

役員への質疑では、会員から「昨年の月イチ映画塾のような単発の勉強会を開いてもらえないか」という意見が出た。これに対し矢部代表は「まずは年間の予算があつて(運営を)進めることになるので、予算内でやっていけるか考えたい」と答えた。

